



clean-tips

ケルヒヤーニュース クリーンチップス 2003夏号



topics

トヨタF1カーにケルヒヤーロゴ

六本木ヒルズに
ケルヒヤースイーパー



contents

*features

P
1-2

ケルヒヤー ワールドニュース

- 世界的な建造物の新たなクリーニングプロジェクト「メムノンの巨像」
- パナソニック・トヨタ・レーシングの新スポンサーに。
- CI・ロゴが変わりました。

P
3-4

ケルヒヤー ジャパンニュース

- 六本木ヒルズでケルヒヤー活躍中
- 知ってますか、ケルヒヤーのちから「競合比較実験 家庭用高圧洗浄機」
- ご家庭向けおすすめアクセサリー、テラスクリーナー。業務用も準備中

P
5-6

新製品のご紹介

- 3つのスイーパー新発売
- 設置型高圧洗浄機 新ラインナップ登場

*

*regulars

P
7

Sato's Talk ————— 社長からのご挨拶

今号のピックアップ・アプリケーション ————— ご家庭での落書き消し

ケルヒヤー社の歩み(第2回) ————— フロンティアスピリットにあふれる社史を紹介

世界的な建造物の 新たなクリーニングプロジェクト。

—古代エジプトの遺跡「メムノンの巨像」を洗浄しました。—

2002年1月から約3ヶ月かけて、ケルヒャーは、エジプト、ルクソール西岸の遺跡「メムノンの巨像」を洗浄しました。ケルヒャーの世界的な建造物のクリーニングプロジェクトの一貫として行ったもので、元は赤っぽい色だということです。

ルクソールは世界遺跡のほぼ3分の1があるといわれる、エジプトの人気観光地です。「メムノンの巨像」はその中のひとつ、ナイル川西岸に位置する巨大遺跡であり、3360年前にエジプト最大の寺院建築であるアメンヘテブ3世の葬祭殿前に建てられました。その葬祭殿の発掘作業を監督していた、カイロのドイツ考古学研究所の元所長であるライナー・シュタデルマン教授からケルヒャーに問合せがあったことから、洗浄作業が現実のものとなつたのです。

洗浄の目的は、固く積もつた汚れの層を取り除き、それ以上の劣化を防ぐことでした。この作業は、シュタデルマン教授の指導のもと、エジプト考古庁に代わりケルヒャーの洗浄スペシャリスト、メーヴェスが担当しました。また、修復専門家のイエンス・リンク氏の分析レポートを受けて洗浄方法が決定されました。作業は、保護スーツとマスクを着用しなければならないことから、年内で気温が一番低い冬季の1月(25度前後)に開始されました。

事前のテストで分かったことは、もともと巨像の表面は磨かれてつやがあったこ

と、現在の黄色い表面は、風で運ばれた砂とナイル川の沈泥、車の排ガスなどの汚染物質が混ざり合って体積したもので、元は赤っぽい色だということです。

この2体の像は、高さ14m、重さ800トンもあり、それぞれ硅岩の単石からなります。硅岩は大変硬く、水分をほとんど吸収しない性質なので、洗浄するには難しい対象ではありません。採用された洗浄方法は、超微粉炭酸カルシウム(粒子0.01-0.14mm、モース硬度2.5)を圧縮空気と一緒に吐出するプラスティング(表面はく離)です。圧縮空気と研磨剤の噴射量をケルヒヤープラストガンのハンドルで

細かく調整しながら、表面の汚れを1層1層はがしていました。

元の色の跡は、細心の注意を払って表面に出しました。現在は長期的に保存するために分析が行なわれています。ひびや裂け目には、水などが入って損傷しないように事前に詰め物をしました。石の表面の細孔のほこりの粒子はそのまま残し、大気中の汚染物質が入り込まないようにしました。また、浸食の激



●メムノンの巨像



●頭部を洗浄中

しいところ、特に北側の像の頭部と背部は作業を行わず、後日、安定させた後に行う予定です。また、ナイル川氾濫の爪あとを今も伝えるエジプトで唯一の遺跡ということもあり、台座は洗浄しませんでした。

ケルヒャーは過去17年間に、70もの世界的な建造物の洗浄プロジェクトを手掛けてきました。1990年のベルリンのブランデンブルグ門とリオデジャネイロのキリスト像は、繊細な専門的な洗浄が要求されました。

1998年には史上最大の建造物洗浄範囲と認められたローマ・ヴァチカン市国(サン・ピエトロ広場の柱廊)を洗浄しました。2000年には20世紀最後のプロジェクトとして、広島の平和記念公園のモニュメントを洗浄しています。ケルヒャーがこのようなプロジェクトをボランティアとして行なうことには2つ理由があります。自社の技術とノウハウを証明することと、難しい洗浄作業に挑戦することで得た経験を新しい技術の開発に役立てることができます。



●プラストガン

ケルヒャーが、パナソニック・トヨタ・レーシングの新スポンサーに。

5月9日、清掃機器メーカーのケルヒャー(本社:ドイツ、ヴィンデン、日本法人本社:宮城県)は、今期FIAフォーミュラワン世界選手権にO.バニスとC.ダ・マッタの両ドライバーで参戦しているパナソニック・トヨタ・レーシングのスポンサー・パートナーになることで契約に合意したと発表しました。ケルヒャーのロゴは、5月16日のオーストリアGP、フリー走行より、トヨタF1カー「TF103」のコックピット、ドライバーウニフォーム、チームユニフォーム、モーターホーム等に掲載されています。

ケルヒャーがこのスポンサー契約に踏み切った理由としては、まず、トップレベルのモータースポーツは、清掃技術とノウハウで世界一のパフォーマンスを自認する当社にとってふさわしい世界であると考えていること。2つ目に、GP毎のTV観戦人口が世界で3億人を誇るこ

のスポーツで、特に一般市場でのブランドの知名度アップが見込めることです。

ドイツ本社役員のハリートムート・イナーは、以下のように述べています。「トヨタは、多くの点でわれわれとよく似たゴールを目指すパートナー企業と理解している。それは、製品の革新性と品質において要求が厳しいということに現れている。われわれはこの決定により、世界第3位の自動車メーカーであるトヨタと、清掃技術の分野でもさらに強力な関係が築かれるに信じている。アジアとアメリカはトヨタが特に強い地域であり、ケルヒャーにとっては最大の成長を見込める市場だ。」

また、ケルヒャー ジャパンの佐藤八郎社長は、次のようにコメントしました。「パナソニック・トヨタ・レーシングとスポンサー契約を結べてとても嬉しい。F1を通じてトヨタとパートナーシップを結



●トヨタF1カー(オーストリアGP 2003.5.18)

ぶことで、われわれのブランド“ケルヒャー”的認知が世界レベルで高まるだけでなく、トヨタならびにトヨタの販売店との関係強化につながると思っている。今回の複数年契約で、ケルヒャーとトヨタという2つのブランドを結び付け、マーケティング・営業

活動を一緒に展開していくたい。トヨタF1チームは、先のスペインGPで6位入賞、世界選手権3ポイント獲得したように、今シーズンそのボテンシャルを見せてくれている。今後の活躍に大いに期待している。」

ケルヒャーがモータース

ポーツに関わったのは初めてではありません。ドイツ・ツーリングカー選手権には1992年、1993年、2000年、2001年に協賛しています。また、1999年にポルシェ・ピレリ・スーパーカップのスポンサーになっています。

CI・ロゴが変わりました。

2002年6月、ケルヒャーはCI(コーポレート・アイデンティティ)を改訂しました。新しいCIは、ブランドを企業の最も重要な財産であるとしています。ブランドに対する消費者の信頼は、競争において決定的な優位性となります。

ケルヒャーは世界有数の清掃機器メーカーであり、輸送機器と建物のあらゆる清掃作業において、信頼のおけるパートナーです。ケルヒャーといえば革新的で品質の高い製品を意味します。

ケルヒャーのブランド政策は、コミュニケーションの継続とブランド力の長期的保護を目的としています。ブランド力とは、ブランドの個性(または、ケルヒャーが象徴するもの)とブランドイメージ(消費者が持つ印象)からなります。宣伝やコミュニケーションのすべての手段は、明確で覚えやすいイメージとターゲットグループへの分かりやすいアプローチにより、ケルヒャーの名前をより知らしめるよう制作されます。

ブランドに対する消費者

の認識は、一貫した企業イメージに影響されるものです。新しいCIと一緒にしたブランド政策を構築するにあたり、ケルヒヤーロゴも新しくなりました。ケルヒヤーロゴの中の三角の影が太くなり、形がはっきりしました。また黄色の棒が細くなり、軽快で新

しいイメージとなりました。原則として、ケルヒヤーロゴは、マーク、名前、黄色の棒から成り、構成を変えることはできません。

色は形よりも強くそして速く認識されます。ケルヒヤーイエローの黄色は常に白と一緒に使用し、さわやかでク

リーン、そしてフレンドリーなイメージを与えます。製品のイメージも統一するために、現在グレーの製品も、将来的には黄色に変えていきます。

KÄRCHER

旧ロゴ

KÄRCHER

新ロゴ

六本木ヒルズでケルヒャー活躍中。

ーシティクリーナーほか全9機種を導入ー

取材レポート
取材日：2003年7月9日
AM9:15～

4月25日に民間による国内最大級の市街地再開発プロジェクトとしてオープンして以来、雑誌やTVをにぎわせている六本木ヒルズ。“文化都心”をコンセプトとして、約11.6haという広大なエリアに、オフィス、住宅、商業施設、ホテル、シネマコンプレックスなど、多様な機能が集結した街です。また、建築デザインや内装、庭園などに世界的な建築家が携わって街並みを完成させ、国内外のアーティストによるパブリックアートやストリートアーティストを点在させることで街中がアートにあふれていることも、その特徴と言えます。オープンからわずか2ヶ月たったで来街者が1000万人を突破したということからも、その魅力と人気の高さがうかがえます。

その六本木ヒルズで、ケルヒャーの清掃機器が、街のクリーンさを守るのに一役買っていることはご存知ですか？

たでしょうか。敷地はメインストリートのけやき坂通りを挟んで大きく2つのゾーンに分かれ、そのひとつが森タワーを中心とした業務ゾーン、もうひとつは住宅ゾーンです。ケルヒャー製品は、業務ゾーンの清掃に使われています。使われている商品は、シティクリーナーをはじめとするスイーバーと乾湿両用クリーナー、ドライクリーナー、そして高压洗浄機です。

実際にお使いいただいている西新サービス（株）様の、六本木ヒルズ清掃業務の責任者である園中敏則氏にお話をうかがいました。

「業務ゾーンの外周、66プラザ（広場）の外周、森タワーの6Fから下のビル内と駐車場をケルヒャーで清掃しています。六本木ヒルズ全体の2/3くらいです。」

今、けやき坂通りをすこし歩いてきたのですが、ゴミもなくとてもきれいでした。

「外は朝7時前に数時間かけて清掃しています。オープン当初はゴミやほこりも多かったのですが、今は一段落



●お話をうかがった
園中敏則氏（左）
馬場忠氏（右）

つきました。ただ、作業の考え方としては、オフィスビルというより、テーマパークに近いと思います。」

ではいろいろな場所に適した清掃方法が必要なので、ケルヒャー製品をお選びいただいた決め手は何ですか？

「他のメーカーのものと比べて価格面、操作性、話題

ですが、エンジンタイプだから作業時間が長くて良いですね、ほこりも出ませんし。駐車場のスロープはKMR1000T（搭乗式スイーバー）で作業していますが、使い勝手が良いです。」

使いやすさ、安全性を第一に考えて開発されているのはケルヒャー製品の特長です。作業効率はどうでしょう？

「特にビルの中をスイーバーで清掃できるのが効率的です。当初は掃除機を使う予定だったのですが、KM85/50W BATとKSM750BATのおかげで、1/3の人手で済んでいます。」

バッテリー式のスイーバーは作業音が静かなので屋内清掃に適していますし、広い範囲を効率よく作業できます。では最後に、製品に対するご要望はございますか？

「KMR1000Tは移動中もっと早く走行できれば良いと思います。あとコンテナ容量がもっと大きいと便利ですね、それはKM85/50



●けやき坂通りにて
ICC1（奥）とKMR1000T（手前）

性で上でしたし、デザインが良いです。実は5～6年前にケルヒヤーさんの本社で製品を見せていただいたことがあって、それから使ってみたいと思っていたました。」

実際に使いたいとの感想は？

「ICC1（シティクリーナー）で屋外の広いところを清掃してい



●六本木ヒルズ配置図 けやき坂通りの北側が業務ゾーン

も同じです。KM85/50はもう少しコンパクトだともっと使いやすくなりますね。」

貴重なご意見ありがとうございます。新製品開発に活かさせていただきます。

来街者の多い六本木ヒルズを清潔に保つために、ケル

ヒヤー製品を効率的に使いいただいている西新サービス（株）様は、総合ビル管理業務を全国的に展開されています。製品を通じて、そのサービスの一助を担っていることを大変光栄に感じた取材でした。

使用されているケルヒヤー製品（一部）



知っていますか、ケルヒャーのちから

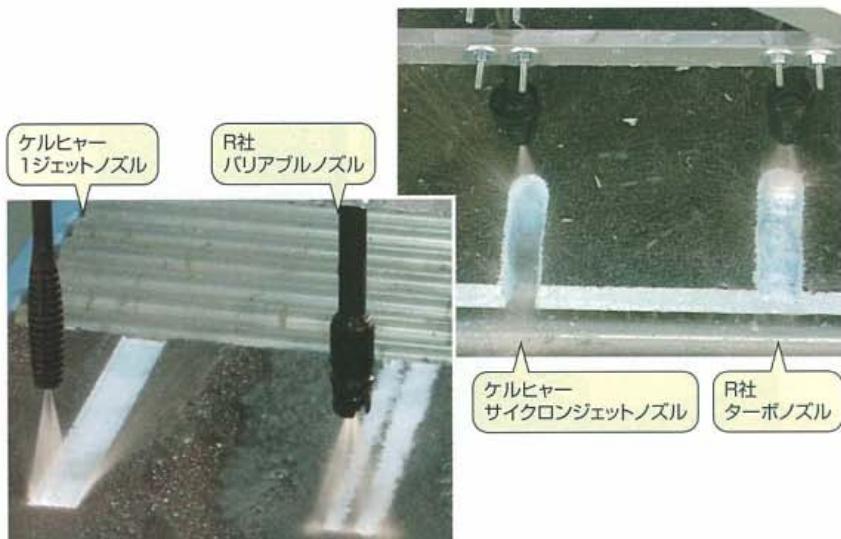
一競合比較実験 家庭用高圧洗浄機

現在、市場には実際に様々な清掃機器があります。また、同じ掃除機でもいろいろなメーカーのものがあります。

では例えば高圧洗浄機と言えば、性能は同じなのでしょうか。カタログの数値は信じていいものなのでしょうか。逆にそれでは何が違うのでしょうか。弊社のカスタマーセンターでも、毎日このような質問を受けています。

そこで、今回自社で比較テストを行うことにしました。

まず、弊社の高圧洗浄機入門機種であるK2シリーズの製品を準備し、市場でよく見かけるR社の製品を購入しました。仕様は、ケルヒヤーが7MPa、280L/h、R社が7MPa、330L/hで、R社が若干ケルヒヤーよりパワフルということになっています。50ミリ厚の硬質断熱材を下に敷き、同じ条件(電圧・距離・給水量)で噴射し、違いを測りました。



まず、一般洗浄用の高圧ノズルをそれぞれセットしました。ケルヒヤーは1ジェットノズル、R社はバリアルノズルです。

違いは歴然。ケルヒヤーはきれいに削っていくのに対し、R社は完全にムラになっていました。

ます。

次に、こびりついた汚れ除去用のノズルです。ケルヒヤーはサイクロンジェットノズル、R社はターボノズルです。これも大きく差が出ました。ケルヒヤーは貫通した真直ぐな線を作りましたが、A社は

貫通もせず洗浄面が平らになっていません。こちらもムラになっています。

同等のパワーであるはずの高圧洗浄機でも、これだけの違いがあるのです。やっぱりケルヒヤーの高圧洗浄機が一番ですね。

ご家庭向けのおすすめアクセサリー テラスクリーナー。業務用も準備中。

昨年末から発売した、家庭用高圧洗浄機の新しいアクセサリー、テラスクリーナー。もうお試しいただきましたでしょうか。



テラスクリーナーは、広い範囲の床面や壁を、かるく、しかも水はねなしで洗浄できるアクセサリーです。高圧洗浄機のトリガーガンに取り付けるだけで準備完了です。トリガーガンを握ることで中のファンジェットノズルがついたプロペラが回り、直径33cm丸型の水はねガードごと数ミリ持ち上がるため、動か

すのにも力がいりません。また、通常の広角ノズルで洗浄するよりも約3~4倍広く、平均した洗浄効果が得られるのです。ですので、テラス

や玄関先、壁や窓などの洗浄がより楽しく簡単にできます。

業務用のステンレスタイプ「FR30」も発売予定です。

FR30は、使用する高圧洗浄機の水量によってノズルが3種類に分かれます。



●業務用のFR30



●壁でも水がはねません



●玄関先やテラスに



●HD895Sに使用中

新製品のご紹介

3つのスイーパーがラインナップに加わります。

-新発売-

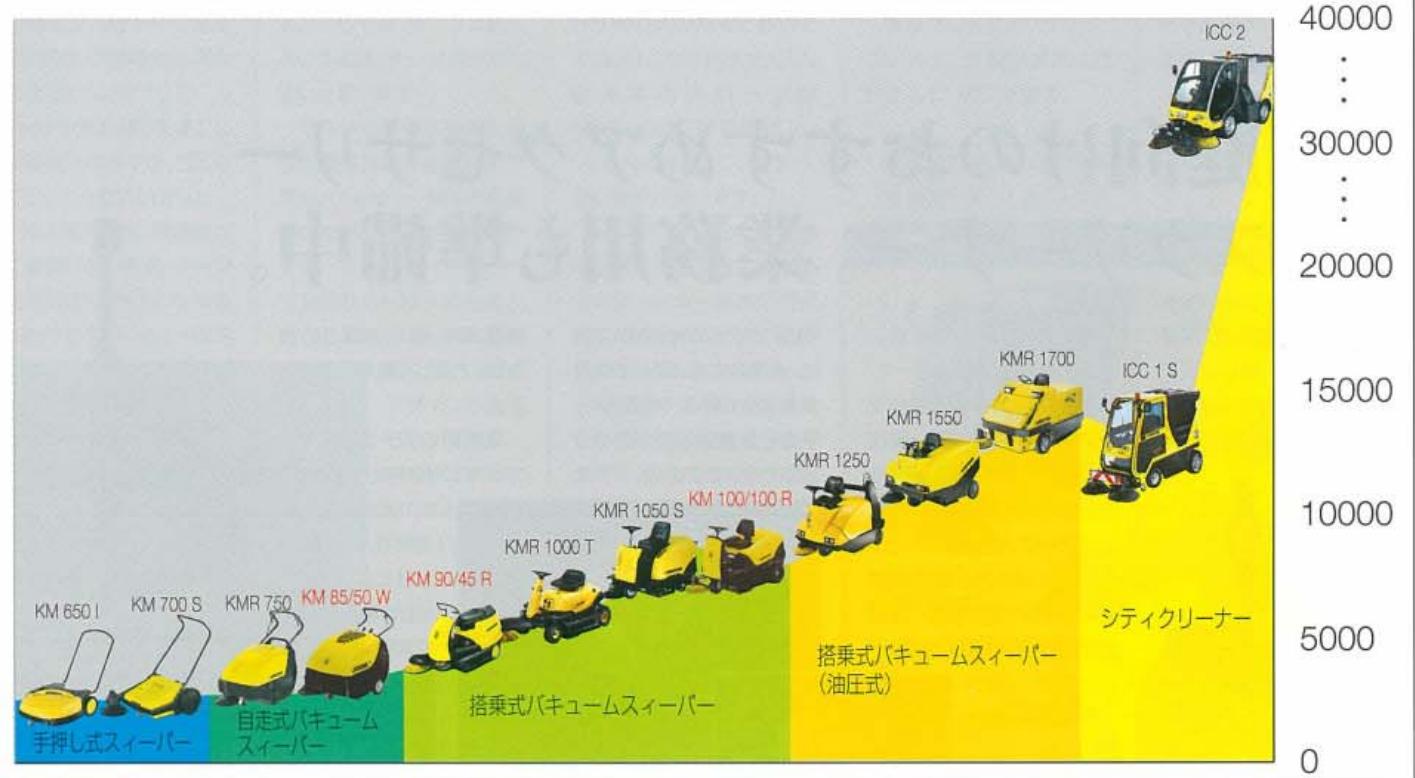
KM 85/50 W
バキューム
スイーパー●コンパクトな
KM 85/50 WKM 90/45 R
搭乗式 バキューム
スイーパー●ユニークな
スクーター型
KM 90/45 RKM 100/100 R
搭乗式 バキューム
スイーパー●LPGエンジン式の
KM 100/100 R

自走式の最上級機種となるKM 85/50 Wには、バッテリー式とエンジン式の2機種をご用意しました。最大の特徴は、ハンドルの押し/引きで前進及び後進ができることです。疲れにくく、女性にも楽に扱え、後進ができることで作業効率もアップします。

スクーター型のKM 90/45 Rは、搭乗式の最小機種です。前輪駆動なので小回りがきき、段差も越えられます。バッテリー式なので作業音が静かで、ノンマーキングタイヤを採用していますので屋内清掃に向いています。また手動式のチリ落としは、ケルヒャーの特許です。

KM 100/100 Rは、搭乗式の中で中型機種となります。LPGガスを燃料とするので、屋内でも有害な排気を出しません。バーキングブレーキをかけるとエンジンが自動停止したり、エンジンが停止するとサイドブラシを上げるなど、安全性・操作性に優れています。

ケルヒャースイーパー 時間あたりの清掃能力

機種名
の見方

これまでなかった「/」(スラッシュ)が機種名に入るようにになります。
見方はカンタン。清掃幅とコンテナー容量、そして自走式か搭乗式かがわかります。

例

KM 85/50 W

①

②

③

- ①清掃幅 (85cm)
- ②コンテナー容量 (50L)
- ③自走式 (Walk behind) か、搭乗式 (Ride on) か。
(この場合自走式)

設置型高圧洗浄機 新ラインナップ登場

5月から導入を開始した設置型高圧洗浄機の新ラインナップ。どんなに広い施設や工場でも、配管敷設によって高圧洗浄の取出しポイント

が自在に設置できるセントラル高圧洗浄システムは、食品関連業、乳業・飲料業、畜産業にぴったりの製品です。

特長

1.準備時間の節約

準備は取出しポイントに高圧ホースをつなぐだけ。

2.いつでもどこでも必要なときに使用可能

作業場所からスイッチのON/OFF、洗浄剤の選択ができるので、その場ですぐに作業できます。

3.冷水も温水も、豊富なラインナップ

用途に合わせて冷水タイプ、温水タイプ、既存の給湯システムから給水するタイプから選べます。

4.オーダーメイド

ひとつひとつの作業環境に適した総合的なサービスを提供します。

洗浄用途

- 食肉加工業(フロア、カットマシン洗浄)
- 食品加工業(フロア、輸送タンク洗浄)
- 薬品製造業(ミキシングタンク洗浄)
- 乳業・飲料業(タンク洗浄)
- 畜産業(畜舎洗浄)

●一ヶ所使用タイプ



●HD9/16ST

品名	圧力(MPa)	水量(L/h)	給湯可能
HD9/16ST	15	1000	×
HD9/16ST H	13	1000	○
HD12/13ST	11	1320	×
HD12/13ST H	9	1320	○

●複数ヶ所同時使用タイプ

品名	圧力(MPa)	水量(L/h)	給湯可能
HD2000C	12	1900	×
HD2000C H	12	1900	○
HD3000C	6.5	2900	×
HD4000C	12	3800	×
HD4000C H	10	3800	○
HD6000C	10	5800	×
HD6000C H/2	10	5800	○



●HD4000C H

●一ヶ所使用タイプ(ボイラー搭載型)



●HDS1291ST

品名	圧力(MPa)	水量(L/h)	ボイラー加熱温度℃(給水30℃)
HDS891ST	3-14	500-930	140-30
HDS1291ST	3-14	600-1200	140-30

代理店様トレーニングも実施中



●本社会議室で講義

昨年12月には、全国の代理店様から20名様にご参加いただき、宮城県の弊社本社にて3日間に渡り、製品トレーニングを実施しました。

最初の講義は、製品の構造、メリット、ターゲットグループ、洗浄作業手順についてです。

また設置計画として機種選定、配管レイアウト、設置工事方法を理論的に学習しました。

次に実際の機械を見ながらその構造を改めて確認し、用途に適したトリガーガンやノズル等のアクセサリーの選び方を学びました。その後、

栗駒町の千田酒造様にて実例(HD 9/16ST H)を見学し、県の産業技術総合センターの醸造設備を借りて洗浄作業の実習をしました。



●千田酒造様の設置機械(HD 9/16ST H)



●宮城県産業技術総合センターでの洗浄実習



新しいタイプの製品ということもあり、ドイツ本社から専門の技術者を呼んでの初めてのトレーニングでしたが、参加された方々からはご好評をいただき、この新製品の可能性を改めて認識することができました。

今年2月には、2度目の代理店様トレーニングを行い、配管の取り付けを実際に体験する内容も盛り込み、さらに具体性のある講習を実施しております。年内には、再度実施予定です。

Sato's Talk

キーワードはやはり、
高い付加価値を持った独自性です。

今年は半分があつという間に過ぎました。

弊社の状況としましては、業務用製品は、食品業界用の設置型高圧洗浄機を導入したこと、新たな市場が拓けました。ラインナップが豊富なので様々なご要望にお応えできることと、既存の給湯システムからの給水ができるという競合他社にはない機種もあることから、おかげさまで大変好評をいただいております。また、六本木ヒルズでご使用いただいているシティクリーナーICC1も、そのデザインの良さと、効果的な清掃作業が行えることから多くの引き合いと好評をいただき、その上級大型機種のICC2の導入も考えているところです。

家庭用製品では、「高い付加価値を持った独自性」をキーワードに、市場でのケルヒヤー製品と他社の製品との違いを明確に打ち出すことで、同じ高圧洗浄機、スチームクリーナーでも、ケルヒヤーは違うということをわかっていただけるよう努めております。

また今年はトヨタF1チームのスポンサーになったこともあり、様々なイベントを考えております。皆様には、より一層のご指導ご協力を賜りますよう何卒お願い申し上げます。



今月のピックアップ アプリケーション

ケルヒヤー製品の
こんな使い方知っていますか？

ご家庭での「落書き消し」

世界中の有名建造物の洗浄・再生を手掛けているケルヒヤー製品。ご家庭でもその技術をご利用いただけるのが、家庭用高圧洗浄機です。最近よく見る壁などへの落書き、これも自分で落とすことができます。準備していただくのは、高圧洗浄機（パワフルなK520Mプラス、K550Mプラス、K670Mプラスがお勧めです）のほかに、オプ

ションアクセサリーのサンドブラストキット、そしてケイ砂（5～6号）です。ケイ砂はホームセンターで扱っています。

ブロック塀の赤ペンキの落書きがみるみる落ちました。細かい砂の粒子と水圧で、塀の黒ずんだ汚れまでも落ちました。



●ブロック塀の落書き



●勢いよく洗い流して行きます



●しっかりきれいに



●洗浄完了

SINCE1935 ケルヒヤー社の歩み

第2回

1935年、アルフレッド・ケルヒヤーは生まれ故郷のパート・カンシュタットで、自社を立ち上げます。その際製造販売したのは、主に電気式ヒーターや防水性発熱体、加熱装置等でした。1939年、現在も本社所在地であるヴィンценに移転し、航空機内ヒーターや航空機エンジン用のヒーターや燃料インジェクターノズルの製造を開始しました。1942年、ジェットバーナーの開発をスタートし、翌年に量産製造に成功

しています。1945年、戦後、日常生活で必要とされるものを製造し始めます。例えば、砲弾の殻で出来た丸型鉄製ストーブや台所用レンジ、手押し車、さらには移動式のミツバチの巣箱等でした。また、後にシュトゥットガルト地域でフォルクス・ワーゲンの最大の販売会社を創設するエルнст・ハーンとともに、車両運搬用トラーラーを製造しました。



●丸型鉄ストーブ